

## 胆振東部地震に関するアンケート調査

NPO 法人ダンディNAライオン

平成30年9月6日早朝、胆振東部に措いて震度7の地震が発生しました。

この地震で40名以上の人が死亡し多くの方が避難せざるを得ない状態になりました。

この様に大きな災害が起きると障がい者の避難所の生活が関係者も含め気掛かりな所です。

障がいを持った子供達が大きな災害で非難する際に精神的にも肉体的にも抑制される事が多く、避難所の生活で周りの人たちと調和ができず、家族と一緒に孤立して生活しなければならない現状です。

このような現状を考え孤立せず避難生活ができる環境を作る為の調査です。

- ① あなたのお子さんの年齢をお聞かせください。  
○0~10歳 ○11~20歳 ○21~30歳 ○31~40歳 ○41~50歳 ○51歳以上
- ② お子さんの日中活動の場はどこか教えてください。  
○特別支援学校 ○義務制養護学校 ○併設高等部 ○高等支援学校 ○生活介護事業所 ○自宅  
○その他( )
- ③ お子さんの夜間の生活の場はどこですか。  
○自宅 ○グループホーム ○その他( )
- ④ 今回の地震で被害を受けましたか。  
○受けた ○受けなかった
- ⑤ 受けた建物の被害はどの様な被害でしたか。  
○家が倒壊、半壊した ○子供の生活の場が被害を受けた ○どちらも被害は受けなかった
- ⑥ お子さんの生活の場は被害を受けましたか。  
○被害を受けた ○被害を受けなかった
- ⑦ 停電により短期間、食糧の確保が難しかったのですが、どう確保されましたか。  
○備蓄していた ○買い出しにでた ○その他
- ⑧ その他と答えた方にお尋ねします。どの様に食料を確保されましたか。  
○食材配送業者 ○弁当等製造業者 ○その他( )
- ⑨ GH等を利用しているお子さんの食糧はどの様に確保されましたか。  
○事業所の職員が調達した ○GHの世話人が調達した ○親達が協力し調達した  
○その他( )
- ⑩ 地震の被害で避難所に避難しましたか。  
○避難所に避難した ○身内、知人宅に避難した ○避難せず自宅に留まった。  
○その他( )
- ⑪ 避難所の場所は、どの様に把握されましたか。  
○公共放送 ○町内会の連絡 ○行政の指示 ○その他( )
- ⑫ 家が壊れた為、避難せざるを得なかった場所についてお聞きします。  
○指定された避難場所 ○親戚、知人宅 ○自宅 ○車、テント等  
○その他( )
- ⑬ 指定された避難場所ではなく、なぜ、避難場所を自宅、車、テント等にしたか理由をお聞かせ下さい。

**※裏面にも設問事項がありますのでご確認のうえ、ご記入をお願いします。**

⑭ 行政が指定している福祉避難所を知っていますか。

知っている 知らない

◆【福祉避難所】とは、災害時に、一般避難所では避難生活が困難な、高齢者や障害者、妊婦など、災害時に援護が必要な人たち（要援護者）に配慮した市町村指定の避難施設を言う。

⑮ もし、福祉避難所があれば避難所として利用されますか。

利用する 利用しない

⑯ 避難所として利用しないと答えた方の理由をお聞かせください。

⑰ 福祉避難所を利用する際に何を求められますか。

⑱ 福祉避難所はどのような場所が良いと思われますか。

⑲ 障がい者の親や兄弟姉妹が震災で亡くなられたり怪我をされた場合は、どの様に対処するかお考えですか。

考えている 今は考えていない これから考える

⑳ 考えている、これから考えると答えた方にお聞きします。

親、兄弟姉妹として障がい者を一人残す事の不安や将来を見越しどうするかお聞かせください。

㉑ 今回の地震（停電）で携帯電話等の通信ができなくなり、被災した御家族との連絡を今後どの様にするかお考えですか。

考えている 考えていない

㉒ 連絡の方法を考えていると答えた方、どのような方法をお考えですか。

㉓ 障がい児者を抱え公の避難所を利用できない御家族にお聞きします。行政に対し何を求められますか。

※このアンケートの内容を良く分析し各親御さんの気持ちを理解し今後の活動に役立てる事といたします。

今後とも、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。